

SSRI 20-12



金融マンの目で見、識る資料

平成20年度上期(20年4月~20年9月)

大阪 地方裁判所 競売物件 [開札・落札]分析

開札・落札物件編

平成21年2月

不動産金融のシンクタンク
株式会社 三友システムアプレイザル

不動産金融研究所

SANYU SYSTEM RESEARCH INSTITUTE (SSRI)

TEL 03-5213-9750

FAX 03-5213-9760

このレポートは地方裁判所が公表した情報に基づいて作成しております。件数、期日、金額等については、現時点のデータと差異がある場合がございますのでご注意ください。また、注意して読んでいただきたい項目については、弊社小冊子「レポートの見方」もございますので、ご希望の方は上記までお申出下さい。

平成 20 年度上期（平成 20 年 4 月から平成 20 年 9 月まで）に、大阪地方裁判所（本庁のみ）において、競売の開札日が到来した物件の分析を行った。開札期日到来物件数なので、地裁の発表する競売申立受理件数とは異なる。

なお参考として、一部の項目について神戸地方裁判所（本庁のみ）と京都地方裁判所（本庁のみ）の数値（平成 20 年度上期）を併記した。

表での「大阪」・「神戸」・「京都」は各地方裁判所名である。

————— 目次 —————

☆開札動向

I 売却種類別開札件数	2
II 受理年別開札件数（暦年）	3
III 買受可能価額	4

☆落札動向

IV 落札件数・落札件数率	5
★売却基準価額未満での落札状況	6
V 落札物件に対する応札者数	7
★個人落札状況	9
★落札価額上位状況（個人・法人）	9
VI 落札価額、落札価額対買受可能価額倍率	10
VII 落札価額対売却基準価額倍率	10
VIII 競売取り下げ状況	11

☆まとめ

○開札状況

- ・開札件数は長期的には減少傾向であったが、今期は「マンション」の大幅増加があり「土地付建物」等他の種類は減少したものの、総件数は僅かに増加した。

○落札状況

- ・応札者数の激減・落札率下落・落札価額倍率低下の状況が顕著に現れ、その水準は競売市場の活性化対策実施以前の H15 年水準に近くなった。